

●1分で見える世界景気／2017年5月から見た6月動向

※世界景気は穏やかに回復基調。日本は人口減少局面での景気回復持続のために賃金上昇、働き方改革ができるか？

欧
州

**英国、6/8総選挙
与党保守優勢**

中国
4月、消費や投資がやや減速

- ・住宅等の不動産開発投資はプラス（バブル気味）
- ・新車販売はマイナス
- ・公共投資はプラス
- ・民間投資がマイナス（金融引き締め気味が影響）

※秋の共産党大会をにらみ、公共投資が増加か？

米
国

トランプ政権
国内/税制改革は先送りか？
国外/世界をリード？

景気穏やかに回復
4月雇用増21.2万人、4月失業率4.4%

F R B
利上げ6月が有力

政治イベント
・ドイツ総選挙 秋

ユーロ圏景気
・GDP1-3月+1.8%（前期比）
・消費者物価指数+1.9%（前年同期比）

● **欧州中銀**
量的緩和継続

地政学、政治イベントリスクはあるものの
政治・景気は小康状態
緩和マネー

日
本

GDP1-3月+2.2%→穏やかな景気回復継続
・住宅投資好調（東京五輪選手村着工等）

人口減少局面での景気回復持続のために賃金上昇、生産性向上を実現できるか

● **日銀**
金融緩和が量から金利へ
①短期金利（-0.1%）②長期金利を0%へ誘導決定

新興国 米国利上げにもかかわらず投資高水準
資源バブル調整後、景気持直して投資が最流入

- フィリピン2016年GDP+6.9%
- シンガポール/住宅販売戸数3月1780戸と好調（前年同月比2倍強）
- インド/物価が落ち着き（+3%台）、株も堅調
- オーストラリア/中国、インドの需要旺盛で鉄鉱石増産